

HOME > 硬式野球部

硬式野球部 奥村がサヨナラ本塁打で決着！ 4季ぶり新人戦優勝／東京六大学春季新人戦

◆5・31～6・2 平成28年度東京六大学春季新人戦(神宮球場)

▼6・2 決勝戦 慶大戦

○明大8―7慶大

決勝	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	計
慶大	0	0	0	4	1	0	0	0	2	0	0	0	0	7
明大	0	0	1	0	0	4	0	2	0	0	0	0	1×	8

(明)森下暢、金子、外尾、高橋、○伊勢一氷見

(慶)田中裕、原田、前田、●太田一郡司

【本】(明)奥村①ソコ(13回＝太田)

【三】(慶)河合(4回)

【二】(明)稲見(1回)、越智(4回)、平塚(6回)(慶)小原和(4回)

(明)◇犠打2 奥村(2回)、氷見(11回) ◇併殺1 ◇残塁14 ◇盗塁2 添田(11回)、稲見(11回)

◇失策3

「4時間26分」の死闘を制し、4季ぶり38度目の新人戦優勝だ！ 3回に先制点を決めた明大だったが、そこからシーソーゲームが続き7回終了時点でスコアは5-5の同点。迎えた8回、6番奥村大貴内野手(政経2＝明大中野八王子)が勝ち越しの適時打を放つも、9回に同点に追い付かれ試合は延長戦へと突入した。両者譲らずの攻防が続き日没コールドが迫っていた延長13回、最後は奥村のサヨナラ本塁打で勝負あり。リーグ戦の優勝に引き続く5季ぶりの兄弟優勝をつかみ取った。



4季ぶりの頂点はサヨナラ勝ちでつかんだ

@meisupo からのツイート

部の紹介

硬式野球部

- ・2016年 硬式野球部紹介
- ・2015年 硬式野球部紹介
- ・2014年 硬式野球部紹介
- ・2013年 硬式野球部紹介
- ・2012年 硬式野球部紹介
- ・2011年 硬式野球部紹介
- ・2010年 硬式野球部紹介
- ・2009年 硬式野球部紹介
- ・2008年 硬式野球部紹介
- ・2007年 硬式野球部紹介

注目記事

- ・明大スポーツ ROOKIES'16～体育会スポーツ推薦入学者一覧表～
- ・硬式野球部 東京六大学野球2014～春～(12)開幕前選手インタビュー 大塚健太郎
- ・ラグビー部 八幡山日誌(117)丹羽体制2年目の挑戦がスタート
- ・スケート部(アイスホッケー部門) 中大に雪辱 インカレ制覇へあと1勝／日本学生氷上競技選手権



(C) 明大スポーツ 延長13回、奥村の一振りが試合を決めた

ついに終止符を打った。連盟規定により、日没時点で勝敗が決まらなかった場合には優勝預かりとなっていたこの試合。延長13回裏、先頭打者の6番奥村が打席に立つ。太田(慶大)の投じた3球目、高めに浮いた変化球に食らい付くと打球はライトスタンドへ一直線。まばたきすら惜しかった弾道にも「無心だったので、正直打った打球も見えていなかった」。ベンチから走り出てきたメンバーを見て、ようやく飛び出したガッツポーズ。前日にスタメン落ちした悔しさを糧に迎えた決勝戦、この日は8回にも無死満塁から一時勝ち越しとなる適時打を放っていた。凡打が続いても起用し続けてくれた首脳陣に、感謝の意を寄せながらダイヤモンドを一周する。歓喜の輪ができるホームベースに一拍おいて飛び込むと、チーム全員が「ナンバーワン」を意味する人差し指を突き上げた。

我慢の連続だった。先発した森下暢仁投手(政経1＝大分商)が3回

途中に突然のアクシデントに見舞われ降板。その裏、5番山本恵汰外野手(文2＝愛工大名電)が先制の左前適時打を放つも直後の4回に2番手の金子大地投手(商2＝春日部共栄)が走者一掃の適時三塁打などを浴び逆転を許してしまう。しかし、ここから「粘りの明治」が本領を発揮した。1-5で迎えた6回に3本連続の適時打で5-5の同点に追い付くと、7回からマウンドに上がったのは4番手の高橋裕也投手(総合2＝向上)。2点リードで迎えた9回は守備のエラーも絡み同点に追い付かれるが、5回5安打2失点の粘投。力強い速球を軸に、制度の高い変化球で延長10、11回を三者凡退で切り抜けた。前



この記事へのご意見はこちらからお寄せください。

今後の明大スポーツ運営への参考にさせていただくほか、ご意見としてご紹介させていただく場合もございます。

※必ずEmailアドレスをご入力ください。

※htmlタグなど、一部本文中にご利用できない記号がございます。

Email:

送信

日に先発で5回無失点の好投を見せていた伊勢大夢投手(営1=九州学院)も延長12回から5番手として登板。この日は最速147kmを計測し、無安打無失点の投球で相手打線を圧倒した。根気強く投げぬいた両右腕、優勝への大きな立役者となった。



「最後まで諦めていなかったのが、絶対勝てると思っていた」(吉田有輝内野手・商2=履正社)。長く、苦しく、息の詰まるような試合展開。明大14安打、慶大13安打でともに残塁は14と互角の戦いを制したからこそ喜びもひとしおだった。優勝の胸上げには町田治輝新人監督(商4=明治)、竹下諒太郎学生コーチ(営4=明大中野)、主将を務めた吉田有、ヒーローとなった奥村がチームメイトの下でそれぞれ3回ずつ宙を舞った。試合後には「下級生が少しでも多く試合に出られるようにしたい」と語気を強めた吉田有。3試合連続のマルチ安打を放った稲見優樹外野手(法2=日大三)、3試合連続猛打賞で計5打点を挙げた高瀬雄大内野手(営2=長崎西)ら2年生の活躍はもちろん、ルーキーも初めての神宮の舞台で躍動した。秋からのリーグ戦出場を目標に、期待のホープたちはこれからも白球を追い続けていく。

[土屋あいり]

◆明大打撃成績◆

打順	守備	名前	打	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	(中)	稲見(日大三)	5	3	1	左二		中安	中飛		一安	死球		一直		死球		
2	(遊)	吉田有(履正社)	3	0	0	三振		一失		遊ゴ	妨出							
	打三	村上貴(松山東)	3	0	0							三振		右邪飛		三振		
3	(二)	高瀬(長崎西)	7	3	1	中安		一ゴ		右飛	中安		中安	一飛			中直	
4	(左)	佐野悠(広陵)	2	0	0	二併		三振										
	打左	和田慎(常総学院)	3	0	0					遊直	四球		四球		捕邪飛		三振	
5	(右)	山本(愛工大名電)	7	2	1		遊失	左安		遊ゴ	遊ゴ		左安		中飛		右飛	
6	(一)	奥村(明大中野八王子)	5	2	2		投ギ	二ゴ		四球		投ゴ	右安		三振			右本
7	(三)遊	添田(作新学院)	4	2	1		死球		二ゴ	中安		死球	遊ゴ			中安		
8	(捕)	氷見(豊川)	4	0	0		遊ゴ		遊ゴ	二ゴ		四球	遊飛			三ギ		
9	(投)	森下暢(大分商)	1	0	0		遊ゴ											
	投	金子(春日部共栄)	0	0	0													
	打	越智(丹原)	1	1	0				左二									
	投	外尾(佐賀西)	0	0	0													
	打	平塚(春日部共栄)	1	1	2						中二							
	走	植村(日南学園)	0	0	0													
	投	高橋(向上)	2	0	0							三振	二ゴ					
	打	内山(静岡)	1	0	0												三振	
	投	伊勢(九州学院)	0	0	0													
		計	49	14	8													

◆明大投手成績◆

名前	試	勝	敗	回	球数	安	振	球	責
森下暢(大分商)	2	1	0	22/3	66	2	3	2	0

金子(春日部共栄)	3	0	0	11/3	32	4	1	0	3
外尾(佐賀西)	3	0	0	2	35	2	2	2	1
高橋(向上)	2	0	0	5	73	5	4	1	0
○伊勢(九州学院)	2	2	0	2	37	0	2	2	0

◆ベンチ入りメンバー◆

17	高橋(総合2=向上)	3	平塚(政経2=春日部共栄)	16	高瀬(営2=長崎西)
18	外尾(文2=佐賀西)	4	植村(農2=日南学園)	26	村上貴(法2=松山東)
19	金子(商2=春日部共栄)	5	釣賀(政経2=盛岡四)	8	越智(営2=丹原)
23	森下暢(政経1=大分商)	6	吉田有(商2=履正社)	9	稲見(法2=日大三)
29	伊勢(営1=九州学院)	7	山本(文2=愛工大名電)	24	内山(商1=静岡)
2	氷見(政経2=豊川)	13	平光(商2=明大明治)	27	佐野悠(商2=広陵)
22	小野(文2=愛工大名電)	14	鶴田(政経2=甲府一)	39	和田慎(商1=常総学院)
32	西野(政経1=浦和学院)	15	添田(法1=作新学院)		
37	下田(政経2=明大明治)	34	奥村(政経2=明大中野八王子)		

試合後のコメント

サヨナラホームランを放った奥村

「無心だったので、正直打った打球も見えていなかったです。ここまでなんとか耐えて一生懸命みんなで頑張ってきたので、この打席を楽しもうと無心で臨みました。チェンジアップが少し高めに浮いた球だと思いません。特に狙い球を決めていたわけではなくて、体が反応しました。来た球を素直に打ち返そうという風に行ったら、たまたま反応して打ってたんだと思います。昨日スタメンを外れて悔しいという気持ちがありました、それでも今日、町田新人監督が自分を使ってくれて、打なくても最後まで使い続けてくれたのであの結果につながりました。監督には感謝しています。(8回にも勝ち越しの適時打)ここまで、チームに貢献するようなバッティングができていなかったのも、みんながノーアウト満塁で自分に回してくれたので、食らいついていこうと思いました。(胴上げされている時の心境)ホームランを打って周って来ているときは実感がなかったんですけど、胴上げされているときに初めて『自分が打って勝ったんだ』っていう気持ちが沸いてきて、本当にうれしいと思いました」

キャプテンとしてチームをまとめた吉田有

「最後までみんな全然あきらめてなかったのも、絶対勝るとは思っていました。(どのような声かけを)とにかく集中力を切らすなというのと、負けるようなことを思うなと。とりあえず前向きに前向きにとらえるようにみんなに言っていました。(奥村選手がサヨナラホームラン)打った瞬間、いったー！と思ったんで、もう最高です。(胴上げされた感想は)今まで一番気持ち良かったです！やっぱり自分自身が全然結果が出ていなくて、それでもやっぱりみんなが声をかけてくれたりしていいチームだなと、いい学年に恵まれたなと思いました。(学生コーチの存在も大きかった)自分たちのことを第一に考えてくれて、学生コーチだけでなく上級生も全日本を控えているのに練習を手伝ったりしてくれていて。感謝の言葉しかありません。(下級生の底上げ)せっかくキャプテンもやらしてもらったので、どんどん自分が中心となって下級生が少しでも多く試合に出られるようにしたいです。この大会は全然結果が残せなかったのも、次の全日本は入れたらもちろん結果を残すこと、次の秋のリーグ戦、新人戦でも結果を出せるように頑張ります」

NEWS

- ・38度目のリーグ優勝をたたえ祝賀会が開催される(2016/06/16)
- ・18年ぶり初戦敗退 関西国際大に惜敗し日本一逃す／全日本大学選手権(2016/06/08)
- ・打線機能で11得点！ 大差で立下し決勝戦へ／東京六大学春季新人戦(2016/06/01)
- ・延長12回に一挙4得点 法大を下し準決勝へ／東京六大学春季新人戦(2016/05/31)
- ・春季リーグ閉幕 柳ら5人がベストナインを受賞／東京六大学春季リーグ戦(2016/05/30)
- ・代打宮崎が決勝打 完全優勝で3季ぶり38度目V／東京六大学春季リーグ戦(2016/05/23)
- ・痛恨の本塁打浴び立大に敗戦 勝負は運命の3回戦へ／東京六大学春季リーグ戦(2016/05/22)
- ・柳4安打完封！ 立大に先勝し完全Vへ王手／東京六大学春季リーグ戦(2016/05/21)
- ・今季4度目の2桁得点 打撃戦を制し早大から勝ち点奪う／東京六大学春季リーグ戦(2016/05/16)
- ・牛島3試合連続本塁打 9回の反撃も及ばず早大に敗戦／東京六大学春季リーグ戦(2016/05/15)

▶過去の記事を読む

[明治大学のサイトへ](#) | [新聞部の紹介](#) | [明スポ基本方針](#) | [広告掲載のご案内\(PDF\)](#) | [年間購読のお知らせ](#) | [リンク](#)

当サイトに掲載されている全ての記事・写真の無断転載を禁止します。(C)2007.meispo.net